

2023 ミニ国体（少年女子の部）女子審判員研修会報告

報告者 森近和代（女子部会長）

- 【研修日】 2023年8月11日（金）～13日（日）
 事前WEB研修 2023年8月8日（火）
- 【大会会場】 きらら博記念公園ラグビーサッカー場
- 【参加者】 審判員：友宗菜月・村本朱織・時高美紅・宮崎希実・河村南
 インストラクター：竹下聖・田中よしこ・島川敏弘・森近和代（敬称略）
- 【研修内容】 スケジュール

【研修のテーマ】基礎基本					
●8月11日（金）		●8月12日（土）		●8月13日（日）	
時間	内容	時間	内容	時間	内容
		7:00	朝食（各自）	7:00	朝食（各自）
8:30		8:30	会場集合	8:30	会場集合
8:50		8:50	マッチミーティング	8:50	マッチミーティング
9:00					
10:00		10:00	試合② 試合③	10:00	試合④ 試合⑤
12:00		12:00	研修会場へ移動	12:00	試合④⑤ 振り返り
13:00	集合・開講式	13:00		13:00	閉講式・解散
14:00	体力テスト ①きらら博多目的ドーム内 インターバル走 75m17秒+25m22秒	14:00	合同研修 ①厚狭公民館	14:00	
15:00	競技規則テスト	15:00	試合②③ 振り返り	15:00	
16:00		16:00		16:00	
17:00	宿泊ホテルへ移動	17:00			
18:00	夕食（各自）	18:00	夕食（各自）		
19:00		19:00			
20:00		20:00			
21:00		21:00			

☆8月11日（金）初日

体力テスト・・・インターバル 75m 17 秒+25m 22 秒×32 本目標（4名クリア）

競技規則テスト・・・90点以上目標（1名クリア）

◎今回の研修テーマを『基礎基本』で大会に臨んでもらった。日頃からフィジカルトレーニングを行っているか、また競技規則を深く読み込んでいるかなどを把握するために実施した。

〔審判員の感想〕

○競技規則を見る時間が増え、場面などを考えることができた。

○実施していただいたことで、自分の現状を知れたので、見直していきたいと思います。



☆8月12日（土）大会2日目

鳥取県対山口県

岡山県対島根県



◎試合終了後、研修会場にて合同研修会





〔審判員の感想〕

○主審と副審の大切さ、役割を知りました。

○始めは、オフサイドの判定の映像を用いて行いました。判定の部分で間違えてしまうことが何回かあったので、JFA のオフサイドクイズ等を活用して、試合で正しい判定ができるよう取り組んでいきます。副審との協力については講義、フリーキックマネジメントについてはグループディスカッションしながら教えていただきました。副審との協力では、競技規則を見ながら行いましたが、単語 1 つに関して読み込めていなかったため、平日頃から競技規則を読んで勉強しようと思いました。フリーキックマネジメントでは、映像の主審のマネジメントに対する気づき、マネジメントの手順についてディスカッションしました。ディスカッションを通して、フリーキックマネジメントについて再確認できたので、これからも意識して取り組んでいきたいと思っています。

☆8月13日(日) 大会3日目

広島県対山口県
岡山県対鳥取県



〔審判員のコメント〕

○初めてミニ国体に参加して、いつもと違う時間のゲームだったり試合終盤だったり後半の疲れしてきた中での走力をもっとあげないといけないと思いました。

○プレイヤーの時の予測とレフリーとしての予測の違いを改めて感じられたので良かったと思います。

○2 級の方と審判を組む機会があまり無いので動き方やジャッチスタイルなどを学ぶことができた。

○1 日目は、副審 1 として試合を担当させていただきました。オフサイドラインキープをできるだけ正対することを意識しました。しかし、飲水タイムの時のボール管理、選手や役員の監視が出来ていなかったため、次回ではそのような事がないよう意識して取り組みます。また、タッチジャッジでのフラッグアップをはっきりできるよう取り組んでいきます。

2 日目は、主審として試合を担当させていただきました。接戦になると予測し、正しく判定するために、ペナルティーエリア内、付近まで走ることを意識して試合に臨みました。両チームの選手同士は、フェアプレーで試合を行っていたので、ファウルも少なかったですが、キーパーのボール保持の時間が長いことを感じられず、ベンチから声が上がってから対応してしまったので、次回からは自分が主導権を持って対応するように取り組んでいきます。

【まとめ】

今大会は 20 歳代前半とユース女子審判員で試合を担当してもらいました。大会前にはリモートによるプレセミナーにも参加し、初めて大会に参加するユース審判員には意識高く持って大会に臨んでもらいました。試合では思ったより堂々とした審判姿が見られ、これまで育成に関わっていただいた各県内のご指導に大変感謝申し上げます。

今後も女子審判員の育成強化により一層尽力して参ります。

